

学校だより

あさなさとのかぜ

発行者：岩倉市立曾野小学校 校長 松岡由里子 平成21年3月17日 No. 3

3学期をふりかえって

平成20年度がまもなく終わろうとしています。つい先日、「卒業おめでとうの会」も無事終了し、感動の余韻を残しながら後は年間最大の学校行事である「第28回卒業式」を待つのみとなりました。この1年間、保護者の皆様には格別お世話になりました。PTA行事、学校行事、また、各学年の諸活動に至るまで様々な場面でご支援ご協力をいただき、職員一同心より感謝しております。



今、この1年の活動を振り返りつつ、次年度に向けての準備を進めております。学校としての反省、また、先日の保護者アンケートの折に寄せていただきましたご意見等を十分に検討し、新年度を迎えたいと思っております。今後も「地域に愛される学校づくり」を目指し努力して参ります。変わらぬご支援をよろしく願いいたします。

みんなで協力してがんばりました

～曾野小カーニバル～

校舎内のあちこちで呼び込みの声が響きました。ゲーム、宝探し、映画、お化け屋敷など様々な「店」が開かれ、どの店も大勢のお客さんで賑わっていました。開店にあたり、子ども達はとても頑張っていました。クラスとして何をするのか、どのような手順で準備を進めていくのか、係分担はどうするか、自分たちの出し物をどのようにPRしていくか、担任の支援を受けながら子ども達なりに話し合い、知恵を出し合い、最高のステージを創り出そうと意気込んでいました。自分たちが楽しむよりも他の人を喜ばせるのを第一に考えたことはとても意義のあることだと思います。カーニバル後の子ども達の感想には満足感があふれていました。



10年後はどんな大人に？

～1/2成人式(4年生)～

生誕10年の節目を迎え、親への感謝の気持ちを伝えるとともに現在の特技を披露したり、将来の夢を語ったりしました。これからの10年で子ども達は心身ともに大きく変化します。周囲への感謝の気持ちを忘れず、夢の実現に向けて努力してほしいと思っています。10年後にはどのような気持ちで今回の行事を振り返るのでしょうか。



伝統文化にふれて

～餅つき(5年生)～

「おいしい～」四季の森に感動の声があがっていました。地域の方々の指導、保護者の方々の支援を受け、「米作り」のまとめとして5年生による餅つきが行われました。家庭で餅をつくことが少なくなった昨今、子ども達は貴重な体験をすることができたと思います。準備から後片付けまで役割分担をして、それぞれが責任をきちんと果たすことができました。つきたての餅を存分に味わったことは忘れられない思い出になることでしょう。

感謝の気持ちを込めて

～卒業おめでとうの会～

「6年生の皆さん、今までお世話になりました。ありがとうございます。」そんな心からのメッセージを歌や踊りに託し、温かい雰囲気の中で会は進みました。一生懸命自分たちの思いを伝えようと頑張る下級生を、6年生はとても優しいまなざしで見つめていました。会の進行役を務めた4・5年生も見事に重責を果たし、卒業していく6年生も安心したことでしょう。会の最後を締めくくったのは6年生の合唱でした。体を揺すり感慨深げに歌う姿は聴く者の心に響きました。6年生



の皆さんの中学校でのますますの飛躍を期待したいと思います。卒業おめでとうございます。

P.S.

6年生は卒業一週間前の3月12日、皆で奉仕作業をしました。6年間過ごした思い出深い学舎(まなびや)に感謝の気持ちを込めて・・・。



